

U.S.M.Holdings

ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス

第2期決算のご報告

2016年3月1日～2017年2月28日

株主の皆さまへ



株主の皆さまへ

代表取締役会長
上田 真



代表取締役社長
藤田 元宏



株主の皆さまにおかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
第2期決算のご報告をお届けするにあたり、日頃の皆さまのご支援に
心より御礼申し上げます。

経営基盤の強化と グループシナジーの創出を推進

当期の国内経済は、世界経済や為替相場の変動、地震や台風などの自然災害の影響を受けながらも、企業業績が好調に推移したことから、緩やかな成長基調を維持しました。一方、個人消費につきましては、雇用環境は引き続き良好であるものの、可処分所得の伸び悩みなどから力強さが見られませんでした。

このような状況下、当社グループは「グループシナジーによる新たな価値創造」を基本とする中期経営方針のもと、首都圏での経営基盤の強化とグループシナジーの創出に取り組んでまいりました。営業面では3社の共同販促企画の拡大により来店客数増を図りました。また、新たな価値をご提供するため当社グループのプライベートブランド商品開発について、「商品デザインタスクチーム」がコンセプトやブランディングの整理と開発のフローを策定し、発売に向け準備を進めております。3社の共同調達による商品原価低減、店舗資材、什器のコスト削減についても継続して取り組まれました。

これらの結果、当社グループの連結業績は、営業収益が

6,848億6百万円(前期比3.2%増)、営業利益が143億20百万円(前期比2.1%増)、経常利益が141億85百万円(前期比2.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益が73億50百万円(前期比37.9%増)となりました。

新たなシナジー創出に向け 中期経営計画を策定

設立から3年目を迎え、このたび、2017年度を初年度とする中期経営計画を策定いたしました。新たなステージとなる2017年度は設立当初より組成した10のプロジェクトチームを4つに再編成し、中期経営計画を着実に推進してまいります。

マルエツ、カスミ、マックスバリュ関東の3社はそれぞれの地域性と特徴を活かしつつ、U.S.M.Holdingsグループとして融合を図り、成長し続けるSM(スーパーマーケット)をめざし、新たなシナジー創出に全力で取り組んでまいります。

株主の皆さまにおかれましては、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2017年5月

2nd anniversary

U.S.M.Holdings

ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス

おかげさまで2周年!

次の10年の成長に向けた 新たなステージへ

トップインタビュー

Q

中期経営計画策定までの背景と新体制についてお聞かせください。

A

「融和」から「融合」へ。新体制のもとで改革スピードを加速します。

2015年3月の設立から2年間は、歴史、文化の異なる3社がお互いを知り合う「融和」の期間と捉え、個性を尊重して個社の強みを活かしながら、シナジー創出について一定の成果が得られたものと思っています。

しかし、コスト削減の領域が先行し、中期経営方針とした「グループシナジーによる新たな価値創造」にまでは至らなかったことを課題として認識しております。

そこで3年目以降は、事業会社3社がU.S.M.Holdingsグループとして一体となってシナジーを創出し、新たな価値をお客さまにご提供する企業体となるために今年度を初年度とする3カ年の中期経営計画を策定いたしました。

また、この中期経営計画の推進体制を強固とするために、専任の社長を中心とする新体制で改革のスピードを上げてまいります。

Q

中期経営計画の概要をお聞かせください。

A

次の10年も成長し続けるSMの確立に挑戦していくための基盤づくりを進めます。

中期経営計画の策定にあたっては、今後10年間の環境の変化として想定される人口増減、それに伴う世帯構造や食の変化、技術革新、コスト構造の課題にどう対応していくかを議論して枠組みを決定しました。2020年以降2025年を見据え、今後のコストアップに対して、生産性を上げて、いかにコストを吸収していくかが大きな課題です。

そのために、事業インフラの共通化によるシナジーの最大化を図ること、また、消費者変化に対応した新しいSM(スーパーマーケット)モデルの確立に着手することを骨子としています。

U.S.M.Holdingsの中期経営計画を策定、新体制で邁進。

Q 中期経営計画(2017年度~2019年度)の重点施策はなんですか？

A 4つの領域に絞って改革を推進していきます。

3社が本当の意味で一体となり「融合」を成し遂げる、また当面10年の成長カーブを実現するうえで基盤となる3カ年と位置付けています。

そのために、4つの領域について、取り組んでまいります。

1. 商品改革: 規模の優位性を最大限に活かしたシナジーの創出

- (1) P B (プライベートブランド) 商品開発
- (2) 効果と効率を最大化する商流統合
- (3) 食生活の変化への対応

2. ICT改革: 守りと攻めのICT改革の推進

- (1) ICTのインフラ統合
- (2) 新技術活用によるビジネス改革の推進

3. コスト構造改革: 戦略的視点による聖域なきコスト構造改革の推進

- (1) 効果と効率を最大化するグループ共通本部機能の構築
- (2) 資材等の共同調達によるコスト削減

4. 物流改革

グループとして最適な効率を追求する物流体制の構築



例えば、商品改革においては、新たな商品編集と売場への連動、省力化を含めた技術の導入に対する具体的な施策に着手し、ICTにおいては、生産性の向上と固定費の最適化により原資を創出し、新たな購買チャネルと品揃えに貢献するシステムの構築に同時に取り組む計画です。

これにより、2019年度に営業収益7,800~8,000億円、営業利益200億円、営業利益率2.5%、ROE6%を目標にしております。

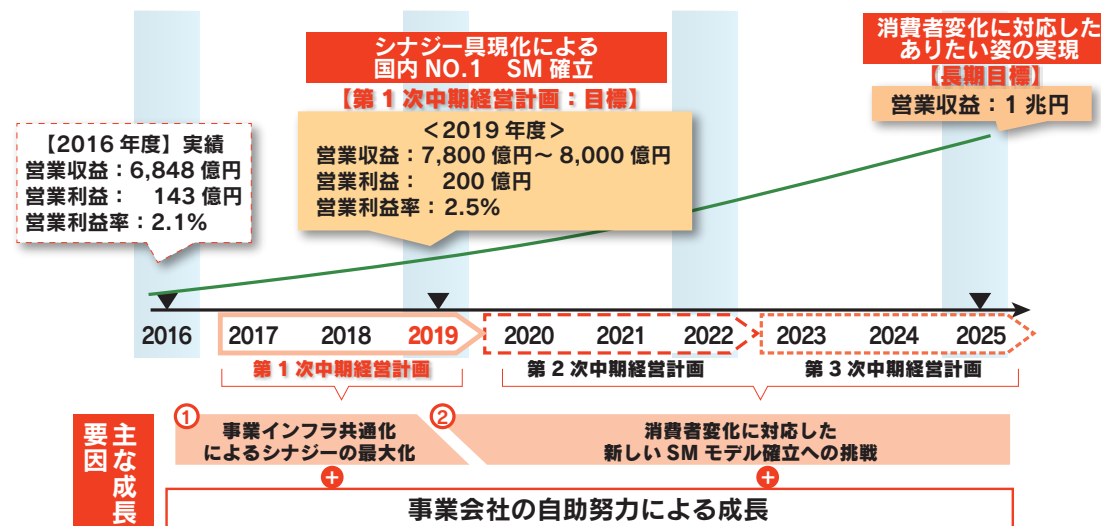
Q 成長戦略についてはどのようにお考えですか？

A 首都圏のドミナント強化で3年間で74店舗の新規出店。存在意義のある店舗に。

今後3年間の成長性を確保するために3社で合計74店舗の新規出店と、115店舗の既存店の活性化を計画しています。首都圏のドミナント強化により、3社の規模から生まれる優位性を最大限お客さまに還元し、我々のグループだからこそ感じていただける利便性を追求してまいります。その一環として、新たな価値を感じていただけるプライベートブランド商品の開発や、商流統合などを推進してまいります。

一方でスーパーマーケットの使命は食文化や生活文化といった地域性を大切にし、それを品揃えやサービスで表現することです。また、多様化し変化し続けるお客さまのニーズにお応えするためには地域に密着した個々の店舗での取り組みが、今後も重要と考えています。そこに傾注できる体制を可能にするには、インフラの共通化や仕組みについてICTや物流改革によるローコスト体制の構築が必要であり、独自のビジネスモデルの確立が重要となってまいります。この3年で基盤をつくり、U.S.M.Holdingsは、事業会社の描く成長を確実なものにするとともに、それらをまとめる一つの事業体として全体最適のための機能と役割を担うことでシナジーを創出し、これらの目標に到達するよう邁進してまいります。

中期経営計画(数値目標)



第2期第3・4四半期の動き

マルエツ商品券と カスミ商品券の利用を グループ各店へ拡大

2016年11月15日より、(株)マルエツの商品券と(株)カスミの商品券の利用範囲が拡大。ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス(株)の各社(株)マルエツ、(株)カスミ、マックスバリュ関東(株)の店舗で利用できるようになりました。

■下記の各店舗でご使用いただけます

株式会社マルエツ…マルエツ、マルエツ プチ、リンコス、スーパーマーケット魚悦、各店舗

株式会社カスミ…カスミ各店舗(フードスクエア、フードマーケット、FOOD OFF ストッカー)

マックスバリュ関東株式会社…東京都、千葉県、埼玉県のマックスバリュ、マックスバリュエクスプレス各店舗及びマックスバリュ津田山店、マックスバリュエクスプレス木月住吉店(但し、東大和店、梅島店、新所沢パルク店を除く)

※(株)マルエツ商品券は、(株)カスミ商品券が利用できるカスミ提携会社の店舗(セイブ・ココス・宝島・Wonder Goo・Wonder REX)では利用できません。



U.S.M. Holdings 共同開発商品 「恵方巻」と「ギリシャヨーグルト」 「大きな えびフライ」などを販売

昨年に引き続き、2017年も2月3日の節分に合わせ、グループ3社で「恵方巻」を共同開発。イタリアン、アメリカン、アジアンの世界の料理と融合した「世界を旅する恵方巻」をはじめ、「天然南まぐろ三味巻」「天然本まぐろ二味巻」の3品を販売しました。また、グループ3社限定の留型商品として2016年9月から「ギリシャヨーグルト」を販売しています。栄養成分が逃げない濃縮製法を用い、使い分けに便利な容量(250g)、脂肪ゼロタイプもあり、ほのかにクリームチーズのような味わいがあるのが特徴です。2016年12月から販売の鮮魚バイヤーによる留型商品、冷凍の「大きな えびフライ」「大粒 かきフライ」も大好評をいただいています。



2周年感謝祭 開催!



(株)マルエツ、(株)カスミ、マックスバリュ関東(株)の3社が統合して誕生したユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス(株)は、2017年3月2日に設立2周年を迎えました。グループ3社へのお客さまのご愛顧に感謝の気持ちをこめ、3月1日～31日にグループ全店で「U.S.M. Holdings 2周年感謝祭」を開催。3社の共同調達などにより、生鮮品をはじめとするお買い得品や価値ある商品を提供しました。また、感謝祭のPRのため、ホームページに当社の「Fact」=事実を紹介する動画、お客さまキャンペーン情報を掲載しました。



進化する店舗 今が旬！のイチオシ売場



週末の集客施策「どっキン市」開催
マルエツ 四季の森フォレオ店



週末の集客施策として、2016年3月から「どっキン市」を実施しています。バラ販売の強化と、週末のお買い物を意識したお徳用商品をお手頃、お値頃の価格帯で訴求しています。

「お肉屋さん」「お魚屋さん」のお惣菜がさらにパワーアップ! マルエツ 柿生店



上期より展開している、精肉・鮮魚部門の厳選素材を使用した「お肉屋さん」「お魚屋さん」のお惣菜の導入店舗をさらに拡大。商品ラインアップも強化し、お客さまにも大好評! 今後もマルエツならではのこだわり商品を開発し、商品力の強化を図ってまいります。



フルーツデザート「ごろごろフルーツゼリー」を開発
フードスクエアカスミひたちなか笹野店



新鮮な旬の果物を味わっていただくために、果物の大きさ、量、組み合わせを追求し、ゼリーも果物の味を引き立てるオリジナルのものを開発し、フルーツデザートとしてご提供。新店のFS守谷テラス店でも導入されています。

お客さまの便利を応援する鮮魚の「焼きた亭」
フードスクエアカスミ守谷テラス店



鮮魚売場で焼き魚を提供するコーナー「焼きた亭」を導入。塩焼きや照焼き、まぐろのかま、お魚ステーキなど豊富に品揃えています。また、店内の生魚をお客さまのご要望に応じて無料で焼き上げる便利なサービスを実施しています。



マックスバリュ関東株式会社

全店展開に向け青果の地元生産者売場を拡大
マックスバリュ新船橋店



青果の地元生産者売場の全店展開に向け、導入店舗を増やし、取り扱い品目も拡大しています。なかでも新船橋店では第2・第4土曜日に「大収穫祭」を開催。生産者の皆さんに新鮮な野菜を直接店舗に持ち込んでいただいで提供、お客さまから大変好評を得ています。

サービスデリ(惣菜)売場の表現力を改善
マックスバリュエクスプレス市川店



サービスデリ売場の展開力強化の一環として、既存店の売場改装の際に壁面の使い方の工夫や演出を実施。売場の質感や雰囲気高めすることで、商品のおいしさや魅力がお客さまにより伝わりやすい売場づくりに注力しています。

株主さま懇談会を開催

ユニテッド・スーパーマーケット・ホールディングス(株)では、株主の皆さまから直接、当社グループの経営や商品・サービスに関するご意見などをお聞かせいただく機会として、株主さま懇談会を開催しました。

第1部の報告会に引き続き、第2部の懇談会では、株主の皆さまと各事業会社の役員・執行役員がテーブルを囲み、貴重なご意見を承る機会となりました。

懇談会の中で頂戴した多くのご意見・ご要望を今後の経営に活かし、より一層当社グループに対するご理解を深めていただけるよう努めてまいります。

引き続き、変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

- 日時 2016年11月28日(月) 14:00~16:00
- 場所 浅草ビューホテル 4F「飛翔の間」 ●ご参加株主様 163名

第1部:報告会



2016年度上期(3~8月)の事業報告と今後の取り組みについてご説明させていただきました。

第2部:懇談会



株主の皆さまと、ユニテッド・スーパーマーケット・ホールディングス(株)及び(株)マルエツ、(株)カスミ、マックスバリュ関東(株)の各社取締役、執行役員が直接、各テーブルを囲み、相談いたしました。

U.S.M.Holdings
グループ店舗数
503店舗

※2017年2月28日現在

	マルエツ	カスミ	マックスバリュ関東
東京都	141店舗	2店舗	14店舗
茨城県	1店舗	98店舗	—
千葉県	47店舗	34店舗	15店舗
埼玉県	55店舗	31店舗	3店舗
神奈川県	45店舗	—	2店舗
栃木県	1店舗	8店舗	—
群馬県	—	6店舗	—



新 店 オ ー プ ン

2016.9.1 ▶ 2017.2.28

フードスクエアカスミ 埼玉県 志木店



9/9

フードマーケットカスミ 茨城県 常陸太田店



10/21

フードマーケットカスミ 茨城県 古河市



11/18

フードスクエアカスミ 茨城県 守谷店



11/25

マルエツ 埼玉県 さいたま市 天沼店



12/7

マルエツ プチ 東京都 北区 田端五丁目店



2/22

マルエツ 東京都 大田区 糞谷駅前店



2/23

U.S.M.H グループの社会貢献活動

カーボン・オフセット で温暖化防止と 被災地の環境保全を

マルエツは昨年に引き続き、「カーボン・オフセット」の取り組みを2016年10月1日~11月31日に実施。事業活動において排出されるCO₂(二酸化炭素)削減の一環として、レジ袋製造等の際に排出されるCO₂をオフセット(埋め合わせ)するために、森林保全等によりCO₂を吸収する事業からオフセット・クレジットを購入するものです。今年度も岩手県、宮城県、福島県の被災3県からオフセット・クレジットを購入。温暖化防止につながる環境活動を推進するとともに、被災地域の環境保全活動や地域活性化を支援しました。



陸前高田市の小中学生 のために『明日暦2017』 の募金贈呈

カスミは、東日本大震災で甚大な被害を受けた岩手県陸前高田市の子どもたちを支援するために、2011年から復興支援カレンダー『明日暦』によるチャリティー活動を継続しています。6回目となる昨年は、2016年11月~12月に実施。お客さまをはじめ、地域の皆さまやお取引先さまから共感をいただき、13,053,500円の浄財をお預かりしました。募金金額は2017年3月23日に現地で行われた贈呈式で陸前高田市立小中学校復興基金に寄贈。復興基金は、小学校の遊具整備や防災教育副読本作成、中学校の電子黒板整備などに活用されています。



フードバンクへの食品 の寄付をスタート

カスミは2016年11月9日からフードバンクへの食品の寄付をスタート。フードバンクは、品質上問題なく安心して食べられるにもかかわらず、さまざまな理由で廃棄される食品を企業などから提供を受け、福祉施設など食品を必要としている施設や個人に贈る活動です。カスミでは食品廃棄物の抑制を図るとともに、賞味・消費期限到来前の食品を有効活用するために、NPO法人フードバンク茨城に調味料や米、缶詰、菓子などの食品を寄付する活動を、茨城県牛久市の5店舗で実施しています。



地域の環境保全 植樹・育樹活動を継続

グループ3社は、出店地域の環境保全の一環として、それぞれ森林再生・保全活動を行っています。マルエツは埼玉県日高市の「マルエツの森」、カスミは茨城県笠間市の「カスミ共感創造の森」で従業員による植樹や下草刈りなどの活動を継続しています。マックスバリュ関東は「イオンふるさと森づくり」として新店オープンの際に地域に自生する植物の苗木を敷地内に植樹する活動に参加しています。こうした活動は地域のお客さまと環境保全の大切さを共有するとともに、新入社員の教育の場としても活用されています。



連結財務諸表

業績の推移

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2016年2月29日)	当連結会計年度 (2017年2月28日)
営業収益	663,799	684,806
売上高	649,539	670,475
営業総利益	197,454	203,456
販売管理費及び一般管理費	183,430	189,136
営業利益	14,024	14,320
経常利益	13,862	14,185
親会社株主に帰属する当期純利益	5,329	7,350

財務の推移

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2016年2月29日)	当連結会計年度 (2017年2月28日)
流動資産	67,920	64,269
固定資産	186,086	191,774
資産合計	254,006	256,043
流動負債	79,841	89,636
固定負債	42,500	28,888
負債合計	122,342	118,524
純資産合計	131,664	137,518
負債純資産合計	254,006	256,043

第2期連結キャッシュ・フロー

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2016年2月29日)	当連結会計年度 (2017年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,107	16,682
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 16,897	▲ 20,294
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 3,910	▲ 608
現金及び現金同等物の増減額	▲ 4,755	▲ 4,300

配当のお知らせ

第2期の期末配当金は、1株につき7円とさせていただきます。

2017年5月8日(月)から2017年6月30日(金)まで、最寄のゆうちょ銀行又は郵便局貯金窓口でお受取り願います。

なお、口座振込をご指定になられた株主さまには2017年5月8日(月)にご指定の口座にお振込の手続きをいたします。

連結業績

	第2期 (2017年2月期)	第3期 (業績予想)
営業収益	百万円 684,806	百万円 710,000
営業利益	百万円 14,320	百万円 14,800
経常利益	百万円 14,185	百万円 14,800
親会社株主に帰属する 当期純利益	百万円 7,350	百万円 7,500
1株当たり 親会社株主に帰属する 当期純利益	円 銭 55.82	円 銭 56.96

会社概要 2017年2月28日現在

概要	
設立	2015年3月
資本金	100億円
事業内容	スーパーマーケット事業の管理
本社	東京都千代田区神田相生町1番地

取締役・監査役 2017年5月19日現在		
代表取締役会長	上田 真	独立社外取締役(非常勤) 鳥飼 重和
代表取締役社長	藤田 元宏	独立社外取締役(非常勤) 牧野 直子
代表取締役	手塚 大輔	常勤監査役 細谷 和夫
取締役	古瀬 良多	常勤監査役 内田 勉
取締役	石井 俊樹	社外監査役(非常勤) 笹岡 晃
取締役相談役(非常勤)	岡田 元也	社外監査役(非常勤) 宮武 正容
社外取締役(非常勤)	秋吉 満	独立社外監査役(非常勤) 岡本 忍

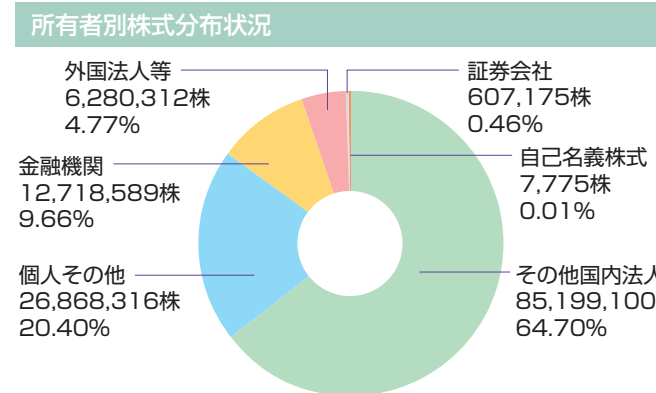
グループ会社	
株式会社マルエツ	食料品、家庭用品、衣料品等の小売販売を行うスーパーマーケット事業
株式会社カスミ	食料品、家庭用品、衣料品等の小売販売を行うスーパーマーケット事業
マックスバリュ関東株式会社	食料品、家庭用品、衣料品等の小売販売を行うスーパーマーケット事業

株主メモ	
事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月開催
基準日	期末配当金 毎年2月末日 中間配当金 毎年8月31日
株主名簿管理人	そのほか必要があるときあらかじめ公告して定めた日 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
郵便物送付先・連絡先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-288-324
取次事務は、みずほ信託銀行株式会社の本店及び全国各支店においてもお取扱いしております。	
公告方法	電子公告

株式の状況	
発行可能株式総数	500,000,000株
発行済株式の総数	131,681,356株
株主数	64,026名

大株主(上位10名)		
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
イオンマーケットインベストメント株式会社	67,159	51.00
U.S.M.Hグループ取引先持株会	3,150	2.39
公益財団法人神林留学生奨学会	2,300	1.75
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,667	1.27
イオン株式会社	1,629	1.24
日本生命保険相互会社	1,531	1.16
株式会社日本アクセス	1,473	1.12
国分グループ本社株式会社	1,099	0.84
三菱食品株式会社	1,075	0.82
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,069	0.81

(注) 1.持株比率は自己株式(7,775株)を控除して計算しております。



株主ご優待制度のご案内

毎年2月末日、8月31日現在の株主さまに対して「株主様ご優待券」(100円割引券)を下記の基準により半期ごとに贈呈させていただいております。

保有株式数	ご優待内容
100～ 499株	優待券100円× 30枚
500～ 999株	優待券100円× 60枚
1000～ 1,999株	優待券100円× 100枚
2,000～ 2,999株	優待券100円× 150枚
3,000～ 4,999株	優待券100円× 180枚
5,000株 以上	優待券100円× 300枚

ご使用方法について

- 株主様ご優待券は、マルエツ・カスミ・マックスバリュ関東(※)の各店舗(テナントを除く)でご使用になります。(ご使用可能な子会社及びご使用できない店舗もございます。下記参照)

(※)印は、他の会社が発行する株主様ご優待券との併用はできません。

ご使用可能な子会社	<カスミ>	ワンダーコーポレーション(直営店のみ) (http://www.wonder.co.jp/shop/list.php)
ご使用できない店舗	<マックスバリュ関東>	マックスバリュエクスプレス東大和店 マックスバリュエクスプレス梅島店 キッチンランド新所沢パルコ店
	<マルエツ>	魚悦糰谷店

- 株主様ご優待券は、1回のお買い上げ金額1,000円以上(消費税込み)につき、1,000円毎に各1枚ご使用になります。
- 株主様ご優待券は、タバコ・切手・商品券・ギフト券など一部商品及びその他各社指定の商品を除く商品のお買い上げ時にご使用になります。尚、ご精算後のご使用のお申し出には、対応できませんのでご留意願います。
- 有効期限は、2月末日現在の株主さまに対する贈呈分は同年12月31日まで、8月31日現在の株主さまに対する贈呈分は翌年6月30日までとなります。
- 株主様ご優待券の盗難、紛失等に対しては、当社はその責を負いません。

お米との交換方法について

送付いたしましたすべての株主様ご優待券(有効期限2017年12月31日)を、返送期日までにご返送いただきます。株主さまには、下記の基準で「お米」と交換させていただきます。(当社の株主ご優待制度は、「株主様ご優待券」または「お米」のどちらか一方を選択いただくものです)

保有株式数	ご優待内容
100株～999株	新潟産コシヒカリ 2kg
1,000株 以上	新潟産コシヒカリ 5kg

※お申し込み方法については、別紙の「お米との交換を希望される株主さまへ」をご覧くださいませよう願いたします。



株主様ご優待券のご使用方法

Q1: 株主優待券は、イオンやマックスバリュ各社でも使用できますか?

A1: 当社の株主様ご優待券は、マルエツ・カスミ・マックスバリュ関東の各店舗(テナントを除く)でのみご使用になります。尚、イオンでは使用できません。また、マックスバリュ関東では、他の会社が発行する株主様ご優待券との併用はできません。(ご使用可能な子会社及びご使用できない店舗は、株主様ご優待券の裏面に参照願います)

Q2: 株主様ご優待券は、どのように(金額と商品)使用できますか?

A2: 株主様ご優待券は、1回のお買い上げ金額1,000円以上(消費税込み)につき、1,000円毎に各1枚ご使用になります。また、タバコ・切手・商品券・ギフト券など一部商品及びその他各社指定の商品を除く商品のお買い上げ時にご使用になります。

Q3: 株主様ご優待券を使用するのを忘れたが、後日、レシートと本券を持参すれば、後からでも使用できますか?

A3: 本券の使用は代金精算の際に、レジにお渡しいただくようお願いいたします。代金精算後のお申し出には、ご対応できませんのでご留意願います。

Q4: 株主様ご優待券の有効期限はありますか?

A4: 有効期限は、2017年2月末日現在の株主さまに対する贈呈分は、2017年12月31日までとなります。

Q5: 届いた株主様ご優待券を紛失したが、再発行はできますか?

A5: 株主様ご優待券の盗難、紛失等に対しては、当社はその責を負いませんので、再発行はいたしません。

株主様ご優待券とお米との交換方法

Q1: 返送用封筒に株主優待券ご優待券を入れ忘れたが、どうすればよいのか?

A1: 下記の連絡先までご連絡願います。(ご確認の連絡がない場合、返送の不備として後日、ご連絡を差し上げます)

Q2: 返送用封筒に優待券返送書を入れ忘れたが、どうすればよいのか?

A2: 下記の連絡先までご連絡願います。(ご確認の連絡がない場合、返送の不備として後日、ご連絡を差し上げます)

Q3: 長期不在や転居または届出住所等が変更になったが、どうすればよいですか?

A3: 下記の連絡先までご連絡願います。(ご確認の連絡がない場合、株主名簿に記載された住所に配送をいたします)

Q4: ご優待品(お米)は、いつごろ届きますか?

A4: 2017年6月中旬から順次、お届けする予定ですが、同じ世帯から同日、郵送された場合でも集配の都合で、配送日が異なる場合がございますので、ご了承ください。なお、今回の配送予定の目安は、弊社のウェブサイト(<https://www.usmh.co.jp>)にてご確認いただくことができます。

Q5: 受け付けの締切り期間(2017年6月9日)を過ぎたが、これからでも手続できますか?

A5: 恐れ入りますが、受付終了後は、お米との交換はいたしませんのでご留意願います。

ユニテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株式会社 株主優待事務局
TEL:03-3526-4761 〒101-0029 東京都千代田区神田相生町1番地 秋葉原センタープレイスビル12階 受付時間/平日9:00～17:00(土・日・祝日を除く)

ユニテッド・スーパーマーケット・ホールディングス 株式会社

〒101-0029 東京都千代田区神田相生町1番地 TEL.03-3526-4761 <https://www.usmh.co.jp>



＜ 11 ページの一部訂正と追加について＞

内容の一部に、訂正及び追加がございました。

ホームページ掲載上で下記のとおり、修正させていただきますとともに
謹んでお詫び申し上げます。

記

1. 該当ページ
11 ページ
2. 訂正箇所（下線部分）
＜誤＞会社概要 2017 年 4 月 1 日現在
＜正＞会社概要 2017 年 2 月 28 日現在
3. 追加箇所（下線部分）
取締役・監査役 2017 年 5 月 19 日現在

以上